

事務事業評価（事前評価）実施結果（平成 25 年度新規要望事業等）

1 事前評価の目的

翌年度（平成 25 年度）を初年度として新たに予算要求しようとする事業及び継続事業で拡充・増額して予算要求しようとする事業について、「妥当性」「効率性」「有効性」「貢献度」を踏まえた多角的かつ総合的な視点で事前に検証し、内容の精査や優先度の調整等を図ることを目的とした。なお、今年度は第 4 次越谷市総合振興計画・前期基本計画・第二期実施計画（計画期間：平成 25～27 年度）の策定年度であることから、その採択対象とする事業費 300 万円以上の事業（以下「実施計画対象事業」と、それ以外の事業の別により、それぞれ実施した。

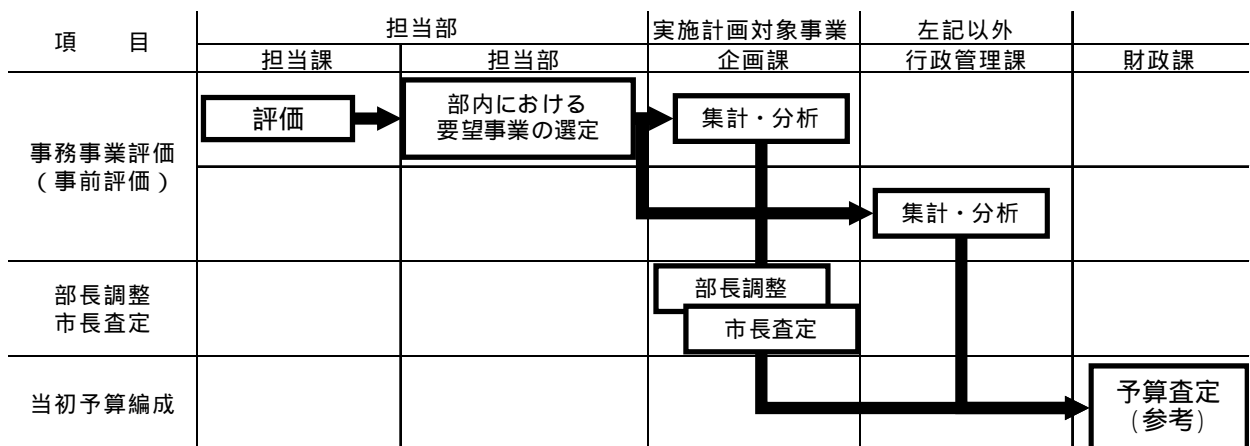
2 実施内容等

事前評価の実施時期・内容と実施手順は図表 1 及び 2 のとおり。まず担当課において、対象とする事業ごとに「妥当性」「効率性」「有効性」「貢献度」の各視点(図表 3 参照)等からの評価を行い、それを踏まえ、部内における優先順位付けを実施。その後、それらを取りまとめた上で（実施計画対象事業については計画策定手続に係る部長調整及び市長査定を経て）、その結果を評価表と併せて平成 25 年度当初予算編成の参考資料として活用した。

図表 1：【実施時期と実施内容】（平成 24 年度）

実施時期	実施内容	
	実施計画対象事業	左記以外
8 月	策定調書（評価表）作成	
8 月～9 月	ヒアリング	
10 月～11 月	企画課長内示・部長調整・市長査定	評価表作成
12 月～	実施結果を財政課に送付	実施結果を財政課に送付

図表 2：【実施手順】



図表 3：【評価の視点】

視 点	
妥当性	市が担うことの妥当性が高いか
効率性	最少の資源投入量で最大の効果が出るか
有効性	事業の成果が出るか
貢献度	上位にある施策の実現（又は目的達成）に貢献するか

3 評価事業数

平成 24 年度における事前評価実施事業数は、実施計画対象事業（新規分）が 40 事業、それ以外の事業が 52 事業、合計 92 事業であった(図表 4 参照)。

図表 4 :【年度別事前評価事業数】

年度	事前評価事業数
平成 15 年度	69 事業
平成 16 年度	62 事業
平成 17 年度	64 事業
平成 18 年度	100 事業
平成 19 年度	81 事業
平成 20 年度	93 事業
平成 21 年度	103 事業
平成 22 年度	78 事業
平成 23 年度	115 事業
平成 24 年度	92 事業(40 事業)

()内は実施計画対象事業

4 評価結果の実施計画及び予算への反映状況等

事前評価を通じた実施計画対象事業とそれ以外の事業についての実施計画及び平成 25 年度当初予算への反映状況は、それぞれ次のとおりであり、厳しい財政状況等の中で各担当部における精査を経て要望のあった事業数を、いずれも全体調整の過程でさらに厳選して絞り込む結果となった。

今後とも限られた予算の中で市民ニーズに適切に対応していくためには、これらの事前評価とともに事後評価や外部評価を引き続き積極的に活用し、既存事業の見直し等と併せた事業の選択と集中を一層推進していく必要がある。

(1) 実施計画への反映状況（実施計画対象事業）

実施計画対象事業について、事前評価を踏まえて第二期実施計画採択事業としての選定を行ったところ、採択率は**図表 5**のとおりであった。

図表 5 :【事業の実施計画採択結果】

	対象事業数...	採択事業数...	採択率... / × 100
実施計画対象事業	40 事業	25 事業	62.5%

(2) 予算への反映状況

実施計画採択事業とそれ以外の事業について、事前評価を踏まえて予算編成を行ったところ、予算措置率は**図表 6**のとおりであった。

図表 6 :【事業の予算編成結果】

	対象事業数...	予算措置事業数...	予算措置率... / × 100
実施計画採択事業	8 事業	7 事業	87.5%
上記以外の事業	52 事業	38 事業	73.1%

実施計画採択事業のうち開始年度が平成 25 年度のもの